

## 京都府納税貯蓄組合 総連合会会長賞

### 「国税の草刈りには…」

舞鶴市立白糸中学校3年 東里咲

夏休みの間、私は部活で学校まで自転車で登校していた。自転車で登校するとき、雑草が大きく成長して道にはみ出してしまっていることがよくある。自転車とすれ違う時、雑草があると通りにくいし、体に葉っぱが当たるといことがよくある。ある日、いつも通り学校へ登校する途中、昨日までは雑草がたくさん生えていたにもかかわらずいつの間にか雑草が刈られていた。

私は国道の草刈りはどのようなものが関わっているのか気になってウェブで調べてみた。まず、国道の草刈りを行うのには主に三つある。一つ目は雑草などの繁茂により車両通行に障害が発生するため。二つ目は必要な視覚・視距離を確保するため。三つ目は状況によっては、管理の仕方について問われることがあるためである。それを防ぐために国道の草刈りが行われている。国道の草刈りでは税金が使われており、人力除草では年間約1.1億円使われているという。私はこのことを知って税金は国道などの道路の整備や救急車・消防車などだけでなく、国道の周りの雑草や木々などを刈ることも関わっていることがわかった。ここ最近では高速道路の料金が上がったり、数年前には消費税が8%から10%に変わったりと税金が増えているということが現状である。そのことに対して周りの大人は「また、税金が上がった。」「給料は上がらないのに税金が上がる一方だ。」などということをよく言っている。そのようなことをよく耳にするので私は税金に対してマイナスなイメージがついていた。けれど、お家の人たちが支払っている税金や私が買い物をした時に課税される消費税など様々な税は身近なところで使われていることを知って税金は私たちの生活をより良くするものだとうわかった。

税金はいろんな所で私たちの生活する中で使われている。公立の小学校や中学校・全日制の高校では公費負担教育費を出してもらっている。また、ゴミの処理費や医療費、警察費や消防費、他にも海外援助費や国際費などたくさんの所で税金は使われている。税金がなくなれば私たちの生活はとても悪くなるだろう。そして、世界が掲げているSDGsの取り組みは改善しなくなり、この世界が良い方向に進まなくなるだろう。そうなるほど私たちの生活に税金は欠かせないものであり、とても大切なものなのだ。私は今回、国道の草刈りについて調べて税金との関わりについて知ったことで税金と自分たちの暮らしについて見直すことができた。国道の草刈りなどの公共の施設に関しては自分たちの行動で税金の使用量を変えることは難しいかもしれないが、火事などに気をつければ消防費、今の時期だと熱中症に気をつければ救急車など自分たちで意識して行動するだけで税金の使用量を少なくすることができると。そのためにも私たちの税金に対する意識を改めて、私たちの生活との関わりを知ることが大切だと考える。